

芝川小だより

1月 第9号

さいたま市立芝川小学校
令和8年1月8日
TEL 048(644)7544



あいさつに込める思い

「新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いします。さて皆さん、どうして新年に『あけましておめでとう』と言うのか知っていますか？」

3学期始業式は、こんな問いかけから始まりました。新年のあいさつには、お祝いの意味だけでなく、相手の健康や幸せを願う気持ちも込められていることを話し、その後、子どもたちと一緒に「あいさつ」について考えました。まず始めに、私自身が「あいさつ」について考えるきっかけとなった体験を紹介しました。

中学生の頃、登校時に必ず教室の入り口で一礼し、「おはようございます」と言う友だちがいました。誰かいてもいなくても、必ず一礼してあいさつします。ある日不思議に思って、「シゲ（重田さんといいます）って、誰にあいさつしてるの？」と聞きました。

シゲ「誰っていうか、教室に？今日も一日よろしくお願いしますって感じかな。」

私「教室に？」

シゲ「教室もだけど、先生とか、みんなとか。」

私「誰もいなくてもするの？」

シゲ「するね。剣道でも道場に入る前にするしね。」（重田さんは剣道部でした）

当時の私は「へえ」と返事をしただけでしたが、その後、重田さんを尊敬の眼差しで見るようになったことは言うまでもありません。確かに、剣道のような武道に限らず他のスポーツでも、練習や試合の前後に礼をしたり、相手と握手をしたりします。調べてみると、武道やスポーツの礼には共通して「礼儀」と「感謝」があることがわかりました。

1. 感謝の気持ちを伝える

一緒に練習してくれる人や場所に感謝を伝える。

2. 「よろしくお願いします」の気持ちを伝える

「ケガをしないように、お互いがんばろう」という気持ちになる。

3. 心を切りかえる

気持ちを整え、集中するためのきっかけになる。

4. 相手を尊重する

相手を大切に思う気持ちが込められている。

始業式では、「いつものあいさつ『おはようございます』『さようなら』も同じで、あいさつは、ただの言葉ではなく、思いやりや感謝を伝える言葉なんだね。」と話して、子どもたちへの話を締めくくりました。

2学期に行った学校評価では、子どもたちから「もっと挨拶をしっかりとりたい」という意見が1, 2位を争うほど多く出ていました。芝川小だけでなく、地域が素敵なあいさつであふれるよう、子どもたちと一緒に一歩ずつ進んでいきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

